



カナダ・ビクトリアでホームステイしながら学ぶ 大学生対象語学短期留学1ヶ月～



現地発着プログラム・お一人様からの催行です

出発: ご希望の時期に出発できます (2011年度)
 期間: 1ヶ月(4週間)～です。フルタイムで100時間の研修です
 現地費用(1ヶ月、全食事付の費用です。交通費は含みません)
 A: フルタイム (週 25h×4 週間) ￥259,000～
 B: パートタイム/午前(週 15h×4 週間) ￥235,000～
 C: パートタイム/午後(週 10h×4 週間) ￥215,000～
 ※上記の現地費用は参考料金です。学校の種類や為替レートの変更等により変わりますので、参加を希望される方にはその時点で見積書をお出しいたします。
 ※英語力は初心の方から上級者の方まで大丈夫です。留学又は長期の語学研修をご希望の方は遠慮なくご相談下さい。

	ひにち	1 週間の基本的なプログラム(一例)
1	(日)	<ul style="list-style-type: none"> ★エアーカナダ又はJALで成田発バンクーバーへ 乗り換え便又はフェリーにてビクトリアへ係員がお迎え ★VIEC事務所にてプログラム説明と内容確認 ホームステイ家族とご対面、ステイ先へ又は、ホテルへ (ホームステイ)
2	(月)	<ul style="list-style-type: none"> ★月曜日から金曜日までは、ご希望により、午前又は午後又はフルタイムでの英会話レッスンがあります。 ※現地在が祝祭日の時には休校となります。(空き時間はフリータイムとなりますので、オプション等自由な時間をお楽しみください) (例) ★ダウンタウンウォーキングツアー ★ブッチャートガーデン観光 ★クレイダーロック城とアンティークロー散策 ★ビーコンヒルパーク散策と エンプレスホテルアフタヌーンティー ★樹齢 800 年といわれる木が林立するレインフォレストへのミニツアー (宿泊はホームステイ)
3	(火)	
4	(水)	
5	(木)	
6	(金)	
7	(土)	
8	(日)	

＜カナダのビクトリア国際交流センター:VIEC が 万全の体制でお手伝いいたします＞

ビクトリア国際交流センター(VIEC)は、青少年から熟年者の方々の語学研修やホームステイ体験をはじめ、日本とカナダの市民交流をサポートするために設立されました。事務所のあるダウンタウンは街全体が英国風の雰囲気が漂っているところで、治安も良く閑静な住宅街もあるのんびりとしたところです。プログラムとしては、語学体験やホームステイ体験を始め、自然散策やアウトドアの活動等も常時実施していて、多くの人々が訪れて楽しんでいます。

また、VIEC には日本語の話せるスタッフが常時待機していて、困った時にはいつでも対応できるように、万全の体制をとっていますので、小人数でも安心してカナダを訪問することができます。



★カナダの英会話教育について

カナダの面積は日本の27倍と言われていますが、人口は3800万人です。そこで、カナダでは積極的に移民を受け入れて国づくりをしていこうとしています。しかし、言葉の壁が発生しているのも事実です。

そこで、カナダ政府は国際共通語である英語を全ての人々に理解してもらうための教育を小さい子どものうちから始めています。何気ない日々の生活や遊びの中から始まる英会話教室は、誰にでも親しみやすいという評判があり、子どもから大人まで、楽しみながら学んでいます。

さて、このたび、カナダのビクトリアに所在いたしますビクトリア国際交流センター(VIEC)との共同企画により、標記のような事業を実施することになりました。さらに VIEC からは特別なご協力をいただき、参加しやすい料金でご案内できることになりました。このような機会に、お誘い合わせの上お一人も多くの皆様に、是非、ご参加いただき、美しい町カナダを楽しんでいただければ幸いです。

(ひの社会教育センター 館長 中能孝則)

- ① 現地の都合により内容の一部に変更が生じることもありますので、予めご了承ください。
- ② 乗り換え地点バンクーバーで乗り換えのお手伝いが必要な方は事前にご相談下さい(有料)
- ③ 7月と8月は込み合っている関係で希望する日に出発できない時もありますので予めご了承ください。

＜共同企画＞

ビクトリア国際交流センター・日本事務局
 〒192-0046 東京都八王子市明神町 3-2-5 和光ビル4F
 TEL:0426-31-1155 FAX:0426-31-1151

お問合せ申し込み先・・・

(財)社会教育協会・ひの社会教育センター

TEL:042-582-3136 FAX:042-581-0647

〒191-0062 東京都日野市多摩平 4-3

ホームページ: 日野社会教育センター 検索